

## 2022 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは・歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1-・子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事・打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応・日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2-・衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携・保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ たけのこクラブ ） 【名 前】（ 岩井 里真 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

今回の研修は新任研修という事で、基礎知識から改めて学びました。第 1 講義・第 2 講義では、「学童の歴史から役割について」や「子どもの健康管理について」の基礎的なお話が多くありました。保育の仕事に携わっていく上で、今までもこれからも大切となっていく基礎だからこそ押さえておきたい、子どもの権利や最善の利益について様々な講師の方のお話を聞き、いろんな視点から学び考えて、子ども達が安心安全に生活できるように努めていかなければならないと感じました。また、これからの季節熱中症や食中毒など健康管理がより一層難しく、且つ必要な季節となります。心して保育していきたいです。

第 3 講義では、指導員の 1 日の仕事の流れ等についてでしたが、1 番心に残ったことは「指導員同士の連携について」でした。保育前に指導員間で打ち合わせを行い、子どもの予定や業務内容の分担等を確認し、保育が円滑に回る様、子ども達が帰ってくる前に準備しておくことは当然ですが、私自身事前準備が疎かになりがちなので、指導員間で連携をとりながら“5W1H”を大切に、交流を図りながら保育していけるようになりたいです。

緊急時の対応については、けがやアレルギー等、日ごろから行う事ではないですし、あってはいけない事ですが、だからこそ万が一の時に備えて迅速に対応できるよう日頃から職員間での連携をとり、チャートなどを用意しておく必要があるのだと改めて感じました。また、“万が一”が起こらないために日ごろから、保育に多くの目を向けられる様人員確保や、保育前の準備を徹底し出来るだけ危険の無いようにしていきたいです。

第 6 講義で一番印象に残ったことは、子ども像についての話の中で『心から笑える子に』というワードでした。講師の方もおっしゃっていたように“いつも笑って元気である”ことは人間なので難しいと思います。辛い時や悲しい事があってもその分楽しいと思えた時に、心から笑い笑顔になれる、そんな子でいられたらきっと人生が楽しく生きていけると思いました。私は、これからの子ども達が、生きることに悲観的にならずポジティブに楽しめる人生を送れる社会になることを願っています。だからこそ、心に響く言葉でした。

保育というのは対人であり、相手の心を考え汲み取る事がとても難しく、複雑な仕事だと思っています。また、未来ある子ども達の成長・発達を見守り、促していくものだと思います。だからこそ私が携わっていい仕事なのかと何度も悩む事もありますが、少しずつでも経験と知識を積み重ねて、胸を張って子ども達と関われる指導員になりたいです。